

与那国駐屯地への中距離地对空誘導弾の配備に関する説明会における質疑応答（Q & A）

Q1 前提として、住民の意見をどのように受け止めて、どのように対応されるか教えてください。

A いただいたご質問やご意見を踏まえ、引き続き、町へのご説明や情報提供等を行い、中距離地对空誘導弾部隊の配備を進めていきたいと考えています。

Q2 私はミサイル部隊の配備に反対です。住民がどういう意見や想いをしているのか、町長はご存知なのでしょうか。また、それを受けて、どのように対応していくのでしょうか。

（上地与那国町長回答）

A 町民に様々なご意見があることは承知しており、本説明会を通して、住民の皆様の意見聴取を行いたいと考えています。また、今後は、町民の意見や議会の意見も踏まえて、判断してまいります。

Q3 令和7年12月の説明会の際に、自衛隊員と思われる方が、質問する住民の顔や町長の姿をビデオで撮っていました。そのような行為を説明会の場で行うのは、住民の意見を聞く上ですごく壁になると思います。

A 住民の皆様を監視するというようなことはありません。住民説明会は、住民の皆様に対し、防衛省の取り組みを、透明性を持ってご説明し、皆様のご不安やご懸念、ご心配等をしっかりと伺いたいという考えのもと、開催しています。

Q4 比川地区には、既に自衛隊及びその家族が居住していますが、追加で60世帯計画しているのは、各集落のバランスを吟味された上で、提案されているのでしょうか？

A 宿舎の整備は、地元のご意見を伺いながら、各集落のバランスをとって検討を進めていきたいと考えています。

Q5 ミサイル部隊を配備予定の駐屯地東側の民有地は、買取ですか、賃貸ですか？

A 中距離地对空誘導弾部隊の配備を行うための用地として、約18ヘクタールの取得を考えています。その態様については、地権者のご意向を踏まえながら対応しております。

Q6 浦野地区のお墓は国有地にかかっていると思いますが、他にも、国有地にかかっているお墓はありますか？

(上地与那国町長回答)

A お墓が所在する国有地は、防衛省の管轄ではありません。町が国から賃貸して使用しています。

Q7 与那国町民は危機感がない。与那国町民は配備されるミサイルが攻撃するものだと思っていますが、今日の説明で、相手国から飛んできたミサイルを撃墜するものだという説明を受けました。この装備は早く与那国でも設置してもらいたいと思っております。島民1700名の命と財産を守るために、早めに配備してください。

A 与那国島には空からの脅威に対応できる装備が常時配備されていないため、防御を目的とした中距離地对空誘導弾部隊を配備させていただきたいと考えています。令和12年度の配備に向けて、引き続き、しっかりとご説明や情報提供を行いながら、着実に進めてまいりたいと考えています。

Q8 2016年に与那国駐屯地を開設した際、周辺国の軍備増強という事態は想定されていなかったのでしょうか。今後、10年、20年と与那国島周辺の安全保障環境が変化したとき、なし崩し的に更なる増員・増設はあり得るのでしょうか。国家安全保障戦略の中で与那国島はどういった位置づけにあるのか。

A 与那国島に沿岸監視部隊を配備して以降10年間で、南西地域を巡る状況は非常に変わってきています。そうした状況を踏まえ、防衛省・自衛隊は、国民の皆様を守る体制を作っていかなければならないと考えています。また、部隊配備については、現時点でこれまでご説明したもの以外に計画しているものはありません。現在、三文書改定の議論も進んでおりますが、これについて、予断を持ってご説明することは困難であることをご理解下さい。

Q9 今後の部隊配備によって、与那国島は短期間で急激に人口が増加することにより、人口の入れ替わりが進行し、様々な社会的影響が懸念されます。これに対するケアはどのようにお考えですか。防衛省の補助事業はハード面が中心ですが、ソフト面の拡充も考えていただきたい。

A 自衛隊員またはその家族が増えることで、与那国島の皆様の生活にご迷惑が生じることはないよう、町のご意見を伺いながら防衛省全体で対応してまいります。また、補助事業については、法令の範囲内で実施しているところですが、引き続き、町のご意見をしっかりと伺いながら、可能な限りしっかりと対応していきたいと考えているところです。

Q10 中距離地对空誘導弾部隊が作戦遂行する際には、既に住民避難が済んでいるのでしょうか？住民が島にいても作戦は始まるのでしょうか？国際法上で、軍と民は一緒にいてはいけないという部分でいうと、住民を盾にして使うことはできないと思っておりますがどうでしょうか。

A 防衛省・自衛隊は、国民の皆様の命と安全を最優先に考え取り組んでいます。また、万が一の事態に備えて、国、沖縄県、市町村、そして九州・山口の各県で協力し、先島諸島からの避難の検討・訓練を行っており、政府として責任を持って、国民保護の取り組みを進めていくことが重要であると考えています。

Q11 与那国島に米軍が駐留する計画はありますか？

A 与那国島を含む先島諸島で、米軍が駐留するという計画はありません。その上で、今後も引き続き、先島諸島において日米共同訓練を継続して実施していきたいと考えています。

Q12 避難シェルターを、各集落に整備してほしいです。

A シェルター整備に関しては、町や議会からも設置に関するご要望をいただいています。こうしたご意見を受け止め、しっかりと政府全体で検討していきたいと考えています。

Q13 高市首相の台湾有事発言について、細かく教えてください。

A 昨年の国会での高市総理の発言は、いかなる事態が存立危機事態に該当するかについては、実際に事態が発生した際に、個別具体的な状況に即して政府として判断していくという趣旨を述べたものであり、政府として従来の解釈を変えたものではありません。その上で台湾の問題については、対話により平和的に解決されることを期待するというのが日本政府の立場であり、何ら変わったものではありません。

Q14 相手がどこの国か、どの方向に向かうかは別として、飛んでくるミサイルに撃ちつける、飛行機を撃つという傍らに、私達は住んでいます。家の隣にミサイルがあって安心して暮らせますか？説明資料の中に決定的にかけているのは、ミサイルを発射する時、そこに暮らしている住民はどうなるのかというものが何もない。デメリットはあると思う。

A 中距離地对空誘導弾部隊は、我が国に侵攻する飛行機やミサイルに対処をする部隊です。従って、そういうことがない限り、この部隊が役に立つことはありません。その役に立たないことが最善であり、防衛省・自衛隊はそれに備えて、平素から厳しい訓練を重ね、抑止力・対処力の強化に努めています。防衛省・自衛隊は、如何なる事態においても、国民の皆様を守るため、この与那国島の住民の皆様を守るために存在し続けます。

Q15 令和9年度に東側用地の調査・設計が計画されています。今後、町においても、住民の想い、疑問、賛成反対の声などいろいろ出ると思います。それを踏まえて、町から正式な回答があるまで、行わないと約束していただきたいです。

A 防衛省としては、中距離地对空誘導弾部隊は、与那国島を守るために必要不可欠な部隊であると考えています。その上で、皆様からのご質問・ご意見をしっかりと受け止め、引き続き与那国町と緊密に連携をして、丁寧にご説明し適切な情報提供に努めてまいります。

Q16 中距離地对空誘導弾を使わないことが一番と言いますが、今の国の動きはそのことにお金をかけて、戦争の準備をしているように思えます。相手国を敵国という言葉まで出して敵対心むき出しです。その理由を教えてください。また、その敵対国と平和を保つため外交努力を行っていることを教えてください。

A 我が国は専守防衛という立場です。その中で、外交が第一だと考えており、政府としては、周辺諸国を含め、様々なレベルで相互理解を深めるべく対話による外交をしっかりと進めております。その上で、防衛省としては、守ることができる能力を持ち、それを抑止力として示しておくということが非常に重要だと考えております。

Q17 中距離地对空誘導弾は防御のためと言いますが、その射程を教えてください。

A 自衛隊装備品の射程等は、我が国の能力を明らかにしてしまうことから、ご説明できないことをご理解いただければと思います。この中距離地对空誘導弾部隊は、攻撃するものではなく、各島を守るために石垣島・宮古島に配備しており、与那国島においても、この島を守るため、配備したいと考えています。

Q18 令和5年度から既に用地取得を行っているが、本来、計画が出た段階で住民説明会を開催するべきではないでしょうか？その上で、町民がどう思うのかを聞き、賛否を表明できる機会を作ることが誠実な対応だと考えます。なぜ行わないのでしょうか？

A 中距離地对空誘導弾部隊の配備計画については、令和4年に公表し、その時点で与那国町にご説明を行いました。その後、令和5年5月に与那国町民の皆様に対して住民説明会を開催し、ご説明させていただいております。その上で、上地町長から再度住民に対してしっかりと説明するよう要望を受け、また、スケジュール等が具体化したところもあり、今回説明できる内容をしっかりとご説明させていただいております。引き続き、町や住民の皆様へ情報提供を行っていくことが重要だと考えています。

Q19 与那国島には、歯医者がなく、診療所の医師不足の危機や特別養護老人ホームの閉鎖など危機的な状況もありました。また、与那国島の急患輸送については、海上保安庁が対応しています。もう少し島の状況を理解して、住民の意見を聞いた上で、配備について判断をしていただきたいです。

A 与那国島が医療を含め様々な問題を抱えていることは、十分承知しています。急患輸送については、南西地域が広い地域にまたがっており、自衛隊と海上保安庁が協力して取り組んでいるところです。引き続き、防衛省・自衛隊として災害対応も含め、しっかりと対応できるように備えてまいりたいと考えています。また、自衛隊員またはその家族が増えることで、皆様の生活に何か大きな支障が生じないように、取り組んでいく必要があると考えていますので、引き続き、町からご意見を伺いながら、できることをしっかり対応していきたいと考えています。

【補足】

緊急患者空輸は、県防災ヘリコプターやドクターヘリが運航できない場合において、より迅速に対応が可能な実動省庁が自治体の要請に基づいて必要な空輸を行うものです。

沖縄県における緊急患者空輸については、主に自衛隊（那覇駐屯地・基地に所在するヘリコプター部隊等）及び海上保安庁が対応しています。

与那国駐屯地に所在する自衛隊の部隊はヘリコプターを保有していないため、与那国島を含む石垣島周辺の離島における緊急患者空輸は、石垣航空基地を有する海上保安庁第十一管区海上保安本部が主に実施しているところです。

Q20 計画を実施することが大前提で、この住民説明会は開かれているのでしょうか。住民の意見、町の意見を聞いて、計画を変更する可能性、その余地はありますか。

A 防衛省としては、この島を守るために、中距離地对空誘導弾部隊の配備が必要なものだと考えています。政府の取り組みを皆様にご理解いただけるよう、町や住民の皆様に対してご説明をさせていただいているところです。

Q21 住民の意見、町の意見を聞いて、計画を変更する可能性、その余地はありますか。

(上地与那国町長回答)

A 中距離地对空誘導弾部隊の配備に関する住民説明会は、糸数前町長の時の令和5年5月15日に1度開催されています。その上で、今回の住民説明会は、私が町長に就任してから、防衛省に要望を行い実施されたものです。本日の説明会で出た要望・質問も含めて、様々な意見があることは承知しています。しかしながら、今回のような部隊配備については、国の専権事項となっており、私（町長）が誘致を決定する・しないという立場にもありません。ただ、町長として町の意見を防衛省に申し上げることはできると考えていますので、皆さんからの意見を聞いて、まとめさせていただきたいと考えております。今日は反対される皆様の声が多いですが、賛成されている方の意見もかなりあると承知しています。今後、議会の皆様とも意見交換しながら、令和9年度の設計が始まる前に、与那国町の意見を申し上げていきたいと考えています。

また、補助事業についても、防衛省からハード的な分野で補助すると説明があったところ、会場からはソフトな部分が足りていないのではとご意見がありました。住民は何らかの形で精神負担を受けているわけですから、その分皆様に恩返しをしないといけないと考えています。そういった意味では、防衛省とよく調整し、ハード面の補助事業以外にも、ソフトの部分を手当していただくことを含めて、今後、要望していきたいと考えています。